

新春

あさひ園だより

発行
第73号

社会福祉法人 旭福社会
特別養護老人ホーム あさひ園
〒697-0422
島根県浜田市旭町本郷 362-6
TEL 0855-45-8231
FAX 0855-45-8239
E-mail asahien@iwamicatv.jp
web <http://www.asahien.com/>

あさひ園 施設理念

『今日も笑顔で思いやりの心』

常に入所者様を一番に考え笑顔で安心信頼される介護者に

新年のご挨拶



社会福祉法人旭福社会

理事長 大倉美知男

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有り難うございました。新しい年を迎えて私どもスタッフ一同は気持ちも新たに、一層の精進の決意も新たにしています。

あさひ園は平成13年1月23日に開園いたしました。以来16年が経過しましたがこれまで地域の多くの方々のご理解やご協力を賜り、職員一同もそれに励まされ何とかここまで繋ぎ来ることが出来ました。改めて感謝申し上げたいと思います。

すでに皆様方にもご理解いただいているように、高齢社会の今後の在り方として医療や介護そして年金制度など様々な取り組みが進んでいます。このビッグな国家プロジェクトにも弱点もあって矢継ぎ早の制度改革も少子化の影響による国の焦りを示すもので、私たちが住む山間部および中山間部では必ずしもマッチングしていない場合があるのが現実でございます。

振り返ってみますと、ご近所のご家族の状況もお互いに知り合っていることが普通の生活であったと思います。そのことで地域での連携も自然に図られ、互助・共助のネットワークも出来て地域の安全も確保できていました。盛んに言われている多職種連携とか地域包括ケアなどの新しいことばも、実は私たちの住む地域では以前から普通にあった人と人とのつながりでした。

この連携が壊れかかって再び人と人との絆の大切さが言われています。顔を知っているだけではなく顔を見て話しあえる関係の大切さが言われています。地域包括ケアシステムも地域再生の手段としなければなりません。

あさひ園も新年を迎えて、楽しいあさひ園づくりと未来を見据えた新しい取り組みに一層力を入れて参りたいと強く思っています。

地域みなさん、新しく生まれ変わるあさひ園にもう一度立ち寄ってみてください。本年も宜しく願い申し上げます。

寄付・寄贈

静間様

手押し車 二台 寄贈

鳥根県養鶏協会

鶏卵 一箱 寄贈

旭福社 理事長 大倉美知男様

利用者へ金一封 寄付

善意の寄付に対し心よりお礼申し上げます

職員紹介



村上光枝介護職員
(広域型特養)

9月22日に入职いたしました。よろしくお願いいたします。

厨房だよ

明けましておめでとございませう。昨年末よりあちらこちらでノロウイルスによる集団感染やインフルエンザ発生がニュースで取り上げられております。一月は最もノロウイルスによる食中毒が多い時期です。厨房でも衛生管理に気を配り、手洗い、うがいの徹底、中心温度計を用い食品の中までしっかりと火が通ったことを確認し入所の皆様へ食事提供を行っています。今後安全で、おいしく食べていただける食事を提供できるように努力していきたいと思っております。

一月七日に七草粥を食べられた方も多いと思います。七草粥の由来は、五節句の一つ「人日(しんじつ)の節句」であるこの日に一年の無病息災を願って「春の七草の入ったお粥を食べる」風習が江戸時代に広がり定着したと、言われています。春の七草は、ヒタミン、ミネラルに富み、整腸作用や胃を強くする、食欲増進などいろいろな効果があります。七草粥は、お正月のごちそうを食べすぎて疲れている胃腸にやさしい食べ物です。

あさひ園でも七草粥を食べました。今年一年、皆さんが無病息災で元気で過ごせるようお願いいたします。



苦情受付

※ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

苦情解決責任者

施設長 岡崎浩明

苦情受付担当者

生活相談員

介護支援専門員

麻原拓也

佐々木真由美

1月・2月の行事予定

1月

9日 本郷とんど祭

12日 新年会

15日 和田とんど祭

2月

7日 節分祭

変更になることもあります



編集後記

明けましておめでとございませう。

新しい一年が始まりましたが、皆さんは今年の目標を立てられたでしょうか。目標達成できるよう、充実した一年にしていきたいですね。

本年も宜しく申し上げます。

広報委員会

新年会



12日（木）、今年はじめての行事となる『あさひ園新年会』を開催いたしました。

会では岡崎施設長の新年の挨拶に始まり、初笑いとして職員による“二人羽織り”により利用者様の笑顔を見ることが出来ました。その後お正月にちなんだ“1月1日”の歌を歌いお手製のおみくじを引いていただきました。また、事前に“絵馬”に書いていただいた新年の抱負を紹介させていただきました。締めには皆さんの無病息災を願い職員による“獅子舞”を披露しました。今年も良い年でありますように・!!

家族・地域との繋がり



以前からあさひ園利用者様やご家族様から自宅への外出希望があり、今年の10月に親族や知人の皆様の協力のお陰で、外出を実施する事ができました。

現地に到着すると、姉妹や子ども様が待っておられたり、知人の皆様が駆けつけられたりと改めて、利用者様一人一人の背景には数えきれない程の繋がりや歴史があると感じました。

やはり慣れ親しんだ町や自宅で生活を送りたいという気持ちは誰もが持っているものだと思います。施設入所となったからこそ、この気持ちを諦めるのではなく、今まで培って来られた、繋がりや歴史を継続して繋げていく事も施設生活を送る上で大切な事だと思います。

想 出



ユニット棟では、普段あさひ園で過ごされている利用者様にできるだけご家族との繋がりが
あるようにとお墓参りやご家族での集まりがある時には自宅へ帰って過ごせるようサポ
ートしたり日々の気分転換を行うように心がけています。

この秋にはプチ旅行としてアクアスへの外出をしました。計画を立てる際にご家族様もお誘
いしてみようということになり、現地にて待ち合わせをしてアクアス見学を一緒にして頂き
ました。この日のためにお忙しい中都合をつけ、遠方より参加していただいたご家族様もお
られました。普段なかなか自分たちが連れて行こうと思ってもできない事だからと楽しみに
されていたご様子でした。入居者の皆様も、何日も前から楽しみにされていて「まだアクア
スはいかんのか〜?」「昔いったことあるけど変わっとるかなあ?」と話題になりました。当
日は実際に目の前を泳ぐ魚やイルカのショーは迫力があって、じっと見入っておられ
たり、ご家族様と一緒にお茶をしたりソフトクリームを食べたり写真を撮ったりととても楽
しそうに過ごしておられました。

入居者の皆様にとってご家族様と過ごす時間は本当に大切な時間です。様々な事情で入居
された方に私たちは日々介護をとおして一緒に過ごさせていただいていますがご家族様へ見
せられる笑顔や安心感は普段の私たちはなかなか見ることはできません。そういったご家族
様の存在の大きさを感じるにより私たちの日々のケアに活かしつつ入居者の皆様に楽し
く過ごしていただけるよう努めていきたいと思えます。

今後もこういった様々な取り組みを行っていこうと思っています。ご家族様だけでは難し
い部分に私たちケアスタッフがかわることで、みなさんの沢山の笑顔が見られる思い出作
りのお手伝いができるようにと思っていますので何かご意見、ご要望等ありましたらお聞か
せください。